

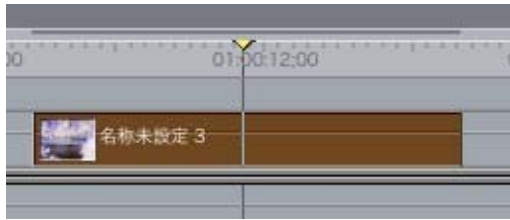
# FxScript Trial

## SpeedMotion

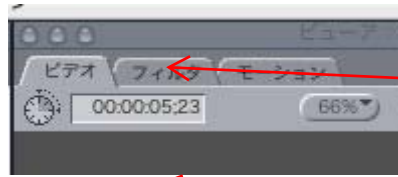
- ・ フィルターの設定
- ・ プラグの機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

# Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。  
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

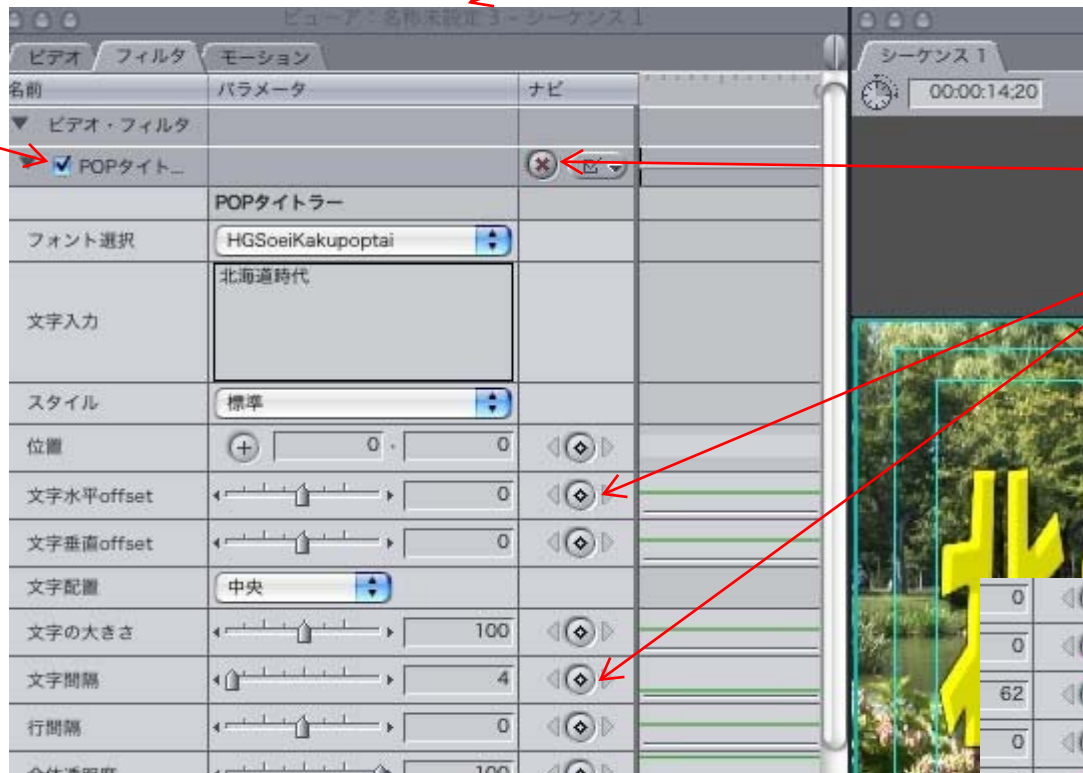


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる

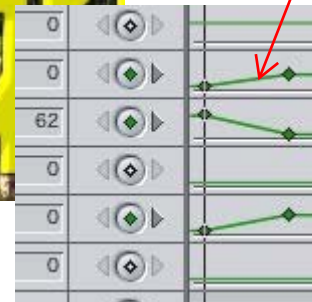


## ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

項目ごとに設定

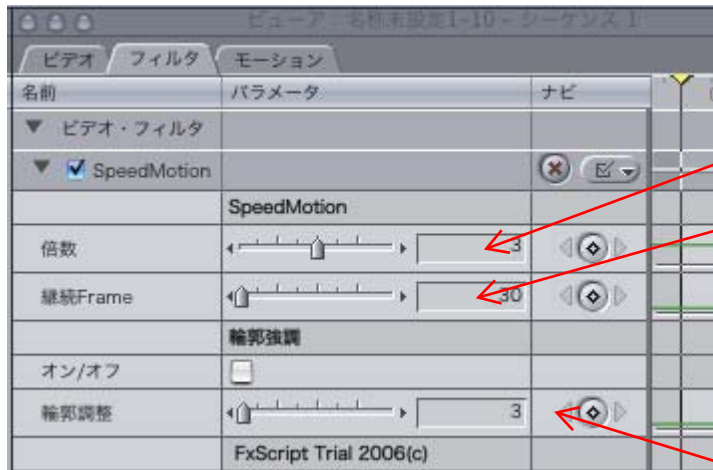
シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変化する。



画像に設定されたプラグ

# SpeedMotion

このプラグは最近はやっている同一クリップ内で時間を急激に制御するプラグで効果時間の設定と効果が終了したときに正方向に辻褃が合って動くように設計されています



SpeedMotionの操作盤はそっけないほど簡単です。

使い方はクリップの効果はじめをカミソリで切りフィルターを乗せます。

まず効果スピードを設定します。(+-100倍速まで)

その効果の継続時間を設定します1800フレーム(1分以内)

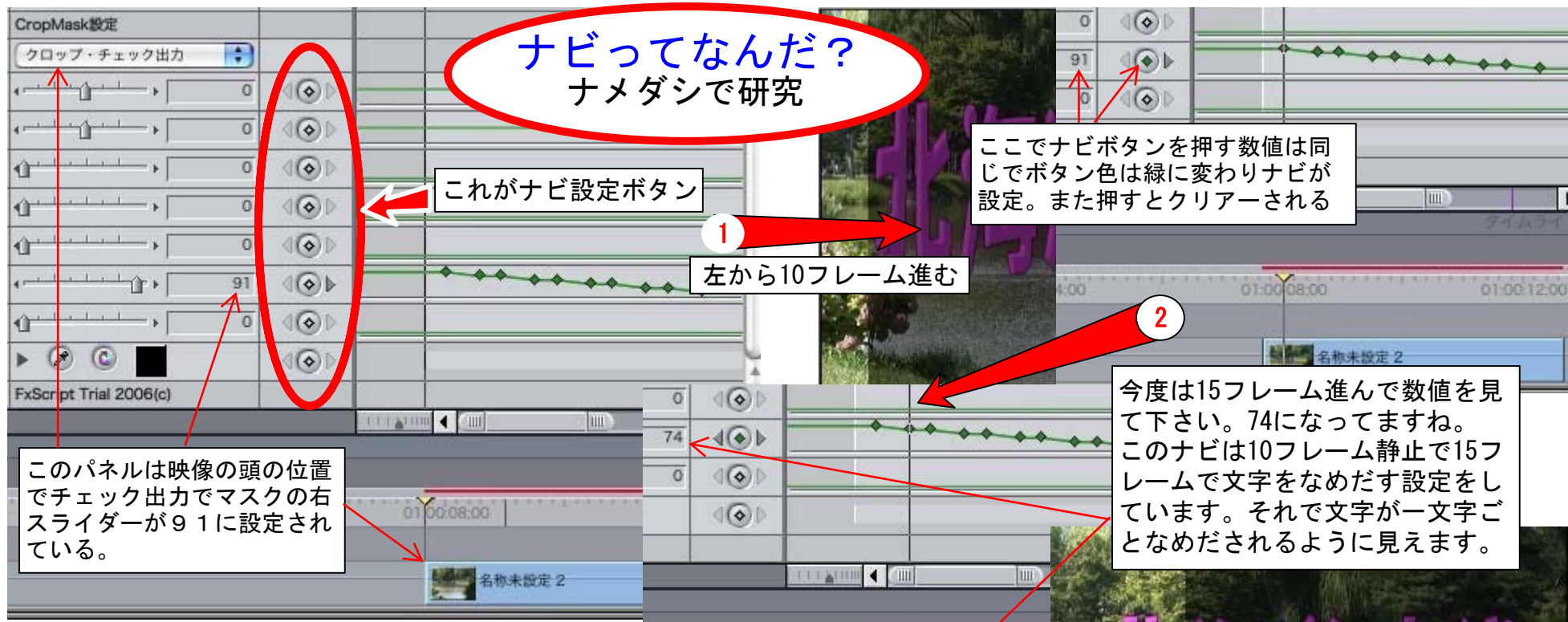
効果の継続時間が終了したら正方向の普通のスピードでシーケンスに設定されたクリップが終わるまで映像が継続します。

DVとHDVしか検証していません。他の方式の報告をお願いします。  
ですから現状NTSCのDVとHDVしか効果を保障できません。

輪郭は遅めや超早めのときに使用するかもしれないと装備しました  
ただし効果期間が終わっても効くのでナビで効果終了後に効果度を落とすのが手だと思います。

デモご購入はこちら

FxScript Trial



ナビってなんだ？  
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

1  
左から10フレーム進む

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

2

今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一文字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

3

デモ映像を見る  
クリック



**ナビゲーションの説明**

ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。

フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。

